

# かみす

Pick up  
▶住民健診  
▶市職員採用試験

特集

まちの魅力再発見

## 新・神之池スタイル

カラダとココロが元気になる公園

みんなの憩いの場、神之池緑地。この魅力をさらにアップさせる計画が進行中です。ランニングステーションの整備やカヌー関連機能の向上、新しい遊具の設置など。この計画の一つとして公園カフェがオープンしました。新たな神之池の魅力を紹介します。

AR

広報かみすが  
動き出す



[COCOAR]



アプリをダウンロードし  
表紙にスマートフォンを  
かざしてください。  
詳細は16ページ



# 新・神之池スタイル

カラダとココロが元気になる公園

まちのシンボルである神之池。皆さんは最近、訪れたことがありますか？ 時代により、季節により、利用目的によりさまざまに表情を変え、いままた新しい魅力が加わろうとしています。今回は、神之池緑地の整備について紹介します。





## 人と自然をつなぐ整備計画

神栖市の名前の由来ともなった神之池。その周辺に整備された神之池緑地は、水辺でランニングをする人、グラウンドゴルフを楽しむグループ、広場で遊ぶ親子など、市民の憩いの場となっています。いま、その神之池緑地で進められているのが「まちのにぎわいづくりプラン」による整備事業です。

「スポーツ関連施設を整備する、体験拠点整備エリア」と、遊具やカフェを整備する「公園施設整備エリア」を中心に、神之池らしさを生かしながら整備を進めていきます」

と話す政策企画課の木内崇仁さん。コンセプトは、「カラダとココロ、そしてまちが元

気になるにぎわいづくりの拠点」。広大な神之池緑地が、誰からも愛され、もっと訪れたいくなる場所が変わろうとしています。

## 神之池、変貌の歴史

神之池は市中心部のオアシス的存在ですが、実は以前、文字どおり「砂丘のオアシス」だったのをご存じですか？ 驚くほどの変貌を遂げてきた神之池。その歴史を知ると、



木内さん

見慣れた風景が新鮮に感じられるかも。ちょっと振り返ってみましょう。

その昔、いまの鹿島港がある辺りには鹿島砂丘が広がり、豊かな水をたたえた神之池は農業用水として田畑を潤し、池での漁も盛んでした。気候が温暖で風光明媚なことから、大正時代には別荘地・保養地として「鹿島文化村」「鹿島理想郷」が造成され、砂丘を滑るサンドスキー場もありました。

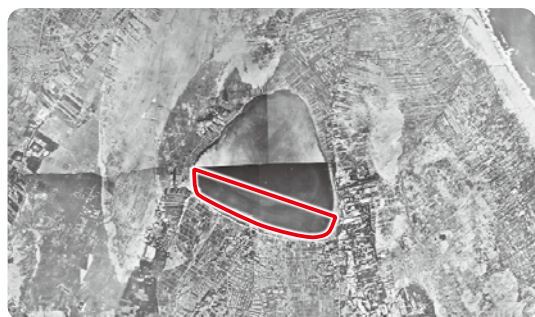
やがて昭和40年代に鹿島開発で埋め立てられ、神之池の姿は一変します。かつて周囲約8キロメートル、三角おにぎりの形をしていた池は、周囲約4・4キロメートル、形は東



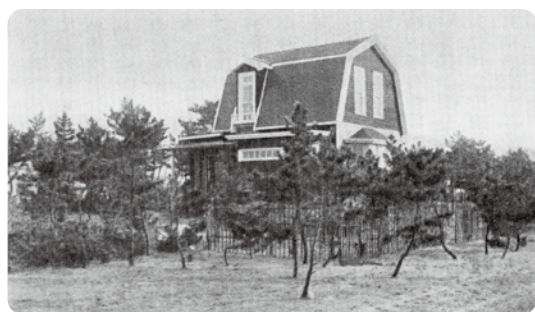
県内初、公園にあるスターバックス コーヒー



テイクアウトすれば公園全体がカフェに



三角おにぎりの形だった神之池(昭和22年 米軍による航空写真) 赤い枠は今の神之池



鹿島文化村の別荘(大正時代)「文化財かみす第25集」より

西に細長く、面積は約7分の1となりました。そして、昭和48年に池の周辺を神之池緑地として整備。その後、スポーツ施設や遊具などがどんどん増え、今ではレジャーパークとしても親しまれています。

## スターバックスコーヒーがオープン

それでは、現在整備が進んでいる「公園施設整備エリア」から紹介します。一番の目玉は、5月8日にオープンした「スターバックスコーヒー 神栖神之池緑地店」。これはまちのにぎわいづくりプラン策定の際に行なったワークショップでの事前アンケートで、「カフェなどの休憩飲食機能」への要望が80%と突出して多かったことから整備計画に取り入れたもの。公募によりスターバックス コーヒーの出店が決まりました。同店の公園店舗は、都内の上野恩賜公園や新宿御苑をはじめ、富岩運河環水公園(富山市)、浜松城公園(浜松市)、蓮華寺池公園(藤枝市)など全国各地に広まりつつあります。神栖神之池緑地店は県内初の公園店舗とあって、開店早々注目の的に。店舗の特徴について、ストア



体験拠点整備エリア

公園施設整備エリア

マネージャーの落合愁斗さんに尋ねました。



落合さん

「特徴の一

つは、公園にとけこむような店舗デザインです。公園との一体感を大切に、大きな窓から景色を楽しめる空間としました。また、テラス席を多く設置し、自然を感じつつコーヒーを味わえるよう配慮しています」

店の前には起伏のある芝生広場、そして木立の先に神之池が見えます。右手には遊具エリアがあり、テラス席から子どもたちを見守ることもできる絶好の配置です。

「ドリンクやフードはお持ち帰りもできますので、公園を散策しながら、あるいはお気に入りの場所ですつろぎながら味わっていただくのもおすすめです。またドライブスルーも併設されていますので、その時々に合わせてご利用が可能です」

初めての利用でメニュー選びや注文に戸惑ったときは、「ぜひお気軽に声をかけてください。キッズメニューもございます」と落合さん。今後の抱負について、「市民の皆さま

まが神之池緑地をさらに好きになれるような、魅力あふれる店舗をつくっていきます」と答えてくれました。

営業時間は朝7時から夜10時まで。出勤前に立ち寄ったり、夜に工場夜景を見がてら訪れたり、神之池緑地にすてきな拠点ができました。

### 安心して遊べる遊具エリア

スターバックス コーヒーのそばにお目見えしたのは、大型ネット遊具。子どもたちが安全に遊べるよう、古くて更新が必要となった帆船型複合遊具を撤去し、新たに設置したものです。休日には子どもたちがネットの上で飛んだり跳ねたり転がったり、さっそく大人気となっています。

このネット遊具の対象年齢は6歳から12歳。さらに小さい子ども用にも、今年度中に、乳幼児遊具エリアを隣接して整備予定で、保護者が目を離れた際に迷子にならないよう、フェンスで囲う計画とのこと。もう一つ、これら遊具の整備にあたっては、足元の芝生にも子どもに優しい配慮がされています。施設管理課の廣瀬健人さんに聞きました。

「一般的な張り芝ではなく、運動場

の芝生を手入れした際に出た根っこ混じりの土を再利用し、ポット苗を育てて地面に植える予定です。これはティフトン芝という種類で、クッション性があり、子どもたちが裸足になってもチクチクしません。繁殖力が強いので、ガ

大型ネット遊具



スターバックス コーヒーの近くに新たな遊具を設置







一周約5kmのランニング・ウォーキングコース



茨城国体カヌースプリント競技では激戦が展開



桜の名所づくりを目指し「桜守プロジェクト」が始動

日に開催(詳細は28ページ)。「市民みんなの神之池ですから、ぜひご参加ください。全4回開催し、2回目以降は樹木医による講習会なども予定しています。植栽計画からその後の維持管理まで、市民の皆さんと一緒に魅力ある景観をつくって

とところで、「体験拠点施設」とは一体どういうものなのか、木内さんに聞きました。「アンケートで寄せら

ンガン踏んで大丈夫。冬場も暖かい日は裸足で遊べるよう、ティフトン芝(夏芝)と冬芝を切り替えながら、一年中緑の芝生を維持していきます」



廣瀬さん

気軽に健康づくりやスポーツを!

さて、次に紹介するのは「体験拠点整備エリア」です。目的は、自然豊かな環境の中で、より多くの人に健康づくりやスポーツを楽しんでもらうこと。

桜の名所を市民とともに

神之池緑地には大きく育った樹木

れた市民の要望を取り入れながら、さまざまな機能を兼ね備えた拠点施設を整備することとしました。主な機能を挙げると、まずロッカールームやシャワールームなどがあるランニングステーション。それから、国体のカヌー競技会場や東京五輪の事前キャンプ地にもなった神之池を、カヌーに親しむ拠点とするためのカヌーの艇庫。また、1階に軽スポーツができる体育室、2階には池を眺めながら運動できるトレーニング室や多目的室を設ける計画です」

が生い茂り、春には約2000本の桜が一齐に咲き誇ります。今回は桜の再配置を含め、全体的な植栽の整備も行ないます。その経緯を廣瀬さんに聞きました。

「鹿島開発の頃、神之池緑地は、工場と市街地の緩衝緑地という位置付けだったため、どんな環境にも強い常緑樹が植えられ、その間に桜が配置されていました。その桜も生育状態が悪く、老朽化しました。そこで、将来にわたって桜の名所として受け継いでいけるよう、桜の再配置計画を策定しています」

今後はワークショップで市民と意見交換をしながら、植栽の整備に取り組んでいきます。第1回は6月25

きたいと思います」  
もっと身近に、もっと楽しく

最後に、今回の整備計画に込めた思いを木内さんに聞きました。「あらゆる年代の方に、いま以上に身近な憩いの場として親しんでいただければと願っています。また、これまでにイベントやスポーツなど特定の目的を持って来ていた方にも、より幅広い楽しみ方をしていただける公園になるとうれしいですね」

6月は新緑が美しく、衣替えや夏至など夏の兆しを感じられる季節。移りゆく季節を感じながら、神之池緑地にどんな変化が訪れるのか、見つけに行ってみませんか?

